



開幕まであと 41 日！

愛知県政記者クラブ
名古屋市政記者クラブ
豊橋市政記者クラブ
岡崎市政記者クラブ
中部芸術文化記者クラブ 同時発表

平成 28 年 7 月 1 日（金）
愛知県民生活部文化芸術課
国際芸術祭推進室事業第一・第二グループ
担当：伊藤、板垣、市川、水野
電話：052-971-6127（ダイヤルイン）
県庁内線：724-682・688・690・695

あいちトリエンナーレ 2016 国際展参加アーティスト

にしおよしなり
西尾美也+403architecture [dajiba] 出品作品

「パブローブ」プロジェクトへの服の寄贈を募集します！

「あいちトリエンナーレ 2016」の開幕に向け、国際展参加アーティスト西尾美也（にしおよしなり）+403architecture [dajiba]によるプロジェクト「パブローブ」が始動しました。

「パブローブ」とは、「パブリック」と「ワードローブ」を組み合わせた造語で、服の図書館のような、トリエンナーレの来場者誰もが利用できる公共のワードローブという意味です。本展会期中には愛知県美術館ギャラリーの展示室で服の貸出、リメイク、イベントなどさまざまな活動を展開します。

この度、本プロジェクトで用いる服の寄贈を募集し、7月9日（土）、10日（日）、16日（土）、17日（日）に、アートラボあいち大津橋にて寄贈を受け付けます。

1 募集内容

(1) 下記のいずれかに当てはまる服を募集します。

- ア お気に入りだったけれど、今は着なくなってしまった大切な服。
- イ 例えば図書館に本を寄贈するように、誰かに紹介したいと思えるような服。
- ウ あいちトリエンナーレ 2016 の来場者に着てもらいたい服。

(2) 募集する服の条件は下記となります。

- ア 春夏用の服であること。かつ、靴や鞆、ベルト、帽子、アクセサリなどの服飾品ではないこと。
 - イ すぐ着られる、洗濯済みの状態であること。
 - ウ 返却不要で、無償提供できること。
 - エ 募集会場に持って来ることができるもの。
- ※服は加工される場合があります。
※服にまつわる簡単なエピソードを書いていただきます。

2 寄贈受付日

日時：平成 28 年 7 月 9 日（土）、10 日（日）、16 日（土）、17 日（日）

いずれも午後 1 時から午後 6 時 30 分まで

場所：アートラボあいち大津橋 2 階（名古屋市中区丸の内三丁目 4-13 愛知県庁大津橋分室）

3 参加作家について

西尾美也+403architecture [dajiba]

1982年奈良県生まれ／奈良県拠点、2011年静岡県にて設立／静岡県拠点

西尾はこれまで衣服を主要な素材として、言葉の通じない土地で見知らぬ通行人とその場で着ているものを交換してお互いのポートレートを撮影する《Self Select》をはじめ、「装う行為」から生まれるコミュニケーションのあり方を探求してきた。一方、3名の建築家によるユニット403architecture [dajiba]は、浜松を拠点として半径数km以内のネットワークでの密なコミュニケーションを軸に、その場所に根ざしたマテリアルを組み替える独自のリノベーションを手がけてきた。ともに1980年代前半生まれ。衣服に建築と素材や手法は違えど、創造とコミュニケーションの関係性を探求するという共通点を持つ。



《パブロープ》 2013 photo: 富田了平

4 [関連イベント] プロジェクト説明会

「パブロープ」の概要と今後の活動について説明し、作品と一緒に作る参加メンバーを募集します。

日時：平成28年7月16日（土）午後2時から午後4時まで（午後1時45分から受付）

会場：アートラボあいち大津橋2階（名古屋市中区三の丸三丁目4-13 愛知県庁大津橋分室）

登壇：西尾美也、辻琢磨（403architecture [dajiba]）

【問合せ先、取材申込み先】

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局 事業第一・二グループ

（愛知県県民生活部文化芸術課国際芸術祭推進室内）

担当：伊藤、板垣（事業担当／問合せ先）

市川、水野（広報担当／取材申込み先）

住所：〒461-8525 名古屋市中区東桜一丁目13-2 愛知芸術文化センター6階

電話：052-971-6127 FAX：052-971-6115 URL：<http://aichitriennale.jp>

E-Mail：geijutsusai@pref.aichi.lg.jp

「あいちトリエンナーレ2016」概要

2010年より3年ごとに開催される国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」。国際展や映像プログラムなどの現代美術と合わせて、ダンス・オペラなどの舞台芸術も楽しむことができます。また、まちなかでの作品展示やさまざまな普及教育プログラムがあることも大きな特色です。第3回となる今回は、「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅」というテーマのもと、世界38の国と地域から100組超のアーティストが集結します。

芸術監督：港 千尋 写真家・著述家 | 多摩美術大学美術学部情報デザイン学科教授（映像人類学）

会期：2016年8月11日（木・祝）～10月23日（日） [74日間]

会場：愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋・豊橋・岡崎市内のまちなか

主催：あいちトリエンナーレ実行委員会

公式 Web サイト：<http://aichitriennale.jp/>

公式 facebook：[/AICHITRIENNALE](https://www.facebook.com/AICHITRIENNALE) 公式 Twitter：[@Aichi_Triennale](https://twitter.com/Aichi_Triennale) #あいちトリエンナーレ